

濃縮乾燥減圧蒸留装置

「廃もろみ」から飼料・肥料・プラスチックを作り出す

現在もろみ粕の処理方法は「もろみ酢」の製造に5%、飼料・肥料の製造に10%使用され、残りの85%は廃棄処分されています。

そして海洋投棄が禁止されてから廃棄処理費用がかさみ、酒造メーカー各社が頭を抱える問題となりました。

そのような状況の中で弊社は、酒造メーカーと協力し「濃縮乾燥減圧蒸留装置」を製造しました。

この装置は、もろみ粕を低温・低気圧(マイナス1気圧)で蒸留し「もろみ酢」を抽出し水分量を減らし濃縮します。低温で抽出するため、有効成分が分解せずに抽出できるのが特徴で、その結果、香りのよい「もろみ酢」ができあがります。また低温殺菌により、従来の圧搾抽出に比べて腐敗が遅くなるのも特徴です。

また、抽出製品からバイオプラスチックの製造も可能で、泡盛の香りのする「とっくり」などの製造も可能です。

飼料としての有効性も、畜産業者のご協力により確認しました。

豚に与えたところ、非常に食いつきがよく食欲増進効果が顕著に表れ、畜産業者さんから絶賛されました。

